



比布町ふるさと通信
2023年号

び び



私たちの新しい日常に、「3年ぶり」が溶け込んだ1年でした。

ピピカツで

誰もが健康で幸福な町を目指して

〇「ピピカツ」のゆっまの

比布町では、運動習慣の形成と食生活の改善により、人生100年時代を健康に生きていく手助けをする事業「ピピカツ」を本格始動しました。これまで「運動と食による脳の活性化事業」として行われてきましたが、町民の皆さんにさらに身近に感じてもらうため、より多くの方に参加してもらうために、愛称を「ピピカツ」とし、左のロゴマークを作成しました。



具体的には子ども向け運動教室や高齢者向け体操事業を実施したり、講演会での健康指導などを行っています。新設事業はもちろん、既存事業も専門家の知見を取り入れながら実施・改善してきました。

〇健康と町づくり

平均寿命が高まり、健康であることはこれまで以上に重要になりました。また、子どもや現役世代であっても、健康がそのまま人生の豊かさにつながっていきます。

そうしたことから、比布町では「ピピカツ」事業を通して、子どもからお年寄りまで全世代にわたって、生涯健康で豊かな人生を送るために必要な体づくりのサポートしていきます。

運動習慣の形成や食事の改善、正しい睡眠など、健康に繋がる「ピピカツ」事業の内容は多岐にわたります。また、異なる生活習慣を持つ様々

幼児向け運動教室の様子。各世代ごとに、それぞれ適したプログラムを実施しています。



比布町版シルバーリハビリ体操「ピピカツリハビリ体操」指導士養成講座を実施。自身の健康にも役立つ知識が好評でした。



目と脳の働きを活性化する「ビジョントレーニングマシン」を導入。最新科学も活用しながら事業を進めています。



ふるさと納税で比布町を応援してください！

「ふるさと納税」は、自分が住んでいる自治体以外に寄付をすることで、税の控除が受けられます。またそのお礼として、比布町の特産品をお送りします。ふるさと納税で比布町を応援しませんか？



詳しくは、役場総務企画課まちづくり推進室地域政策係までお問い合わせください。

インターネットで検索！

比布町 ふるさと納税 検索

ふるさと会から

3つのふるさと会ともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら2022年も総会が中止となりました。しかし、徐々に再開されつつある経済活動を踏まえ、今後の開催について役員とて懇談を行いました。

一日も早く、再びふるさと会の交流が再開できますことを願っています。

旭川比布同郷会

- 会長 合田 春夫さん
- 会員 約250人
- 総会 毎年8月下旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 大谷英躬さん

☎090-2052-3364

札幌比布会

- 会長 大谷 知彰さん
- 会員 約250人
- 総会 毎年7月上旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 高橋美伸さん

☎090-1640-3453



▲7月14日 役員懇談会（札幌市）

東京比布会

- 会長 牧野 正さん
- 会員 約300人
- 総会 毎年6月下旬ごろ
- 会費 8,000円程度
- 連絡先 深瀬和昭さん

☎048-554-6765



▲8月9日 役員懇談会（神奈川県）

ありがとうございます

2月に札幌比布会役員の飛弾野敏子さんから小中学校の新1年生に向けて、桜の形をした手作りのアクリルコースターなどが贈られました。心温まる記念の品を、ありがとうございました。



まちのできごと Town News

2022.3-2023.2



▲3/7 ゼロカーボンシティ宣言

- 令和4年3月7日 「ゼロカーボンシティ」を宣言
- 4月6日 「比布中央学校開校記念式典」 挙行 小中一貫9年制の義務教育学校に
- 4月11日 町内交通死亡事故ゼロ1500日を達成（平成21年以来）
- 5月19日 ぴっぴいち誕生100周年記念「いちこサイダー」が完成（クラウドファンディング返礼品として）
- 6月13日 旭川比布同郷会役員と懇談会を開催
- 7月14日 札幌比布会役員と懇談会を開催
- 7月29日 岡田功さん（9区）が全国教育委員会連合会表彰を受賞
- 8月6日 梅澤満喜さん（5年）が全国小学生将棋大会倉敷王将戦で3位入賞
- 8月7日 第30回記念ぴっぴ七夕天国を開催（コロナ禍のため開催は3年ぶり）
- 8月9日 東京比布会役員と懇談会を開催

- 9月1日 地域おこし協力隊（農業分野）に新たに3名を任命
- 10月2日 第3回比布町ヒルクライムレース、ぴっぴふ良佳村フェスティバル開催
- 10月9日 千葉俊冨さん（7年）が口笛世界大会の12歳以下部門で2位入賞
- 10月15〜16日 比布中央学校吹奏楽部が世界的トラペット奏者エリック・ミヤシロ氏と共演（君の夢プロジェクト）
- 12月21日 野地馨さん（22区）が全国防犯協会連合会表彰「防犯荣誉銅章」を受章
- 12月24日 山口愛結さん（6年）が所属する北海道選抜チーム北海道スノーホワイトが第13回西日本選抜女子学童野球岡山大会で全国優勝
- 令和5年1月8日 第1回「二十歳のつどい」 挙行

歴史を訪ねて

「納涼まつり」「産業まつり」「びっぷ七夕天国」。時代とともに生まれ変わりながら町民に親しまれてきたふるさとの催しは、あの頃を思い出す夏のページ。

歩行者天国の試み

比布町の夏を彩るお祭り「びっぷ七夕天国」。その起源ともいえる「歩行者天国」が町内で初めて試みられたのは、昭和49年。商店街の振興や市街地の活性化を目的に実行委員会体制で開かれた「納涼まつり」のこと。

その日は旭川警察署の許可を得て車を通行止めとし、市街地十字街を午後5時から10時まで歩行者に開放された。多様な行事が催され、開町以来ともいわれる人手で賑わった。

以後、この歩行者天国は毎年継続されることになり、昭和55年に「産業まつり」、平成3年に「びっぷ七夕天国」と形や会場を変えながらも、短い夏の楽しいページとして町民の間に定着していった。

第1回目の七夕天国は、これまでの産業振興はもとより町民がふれあう場として、町・農協・商工会・郵便局・信用金庫などによる実行委員会が組織され、全町あげての祭りとして催された。日中には行政区対抗の縄跳び競技・玉入れ競技、夜にはカラオケ大会が繰り広げられ、このほか吹奏楽部演奏会・餅まき・焼き鳥などの屋台・子ども会七夕飾りなどが催され、多くの町民を楽しませた。

(参考・比布町史)

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』令和5年3月1日発行(通巻第23号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



今年もたわわ「冬イチゴ」

まちの人口

総数 3,499人

男 1,655人

女 1,844人

世帯数 1,766世帯

■令和5年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

【昭和49年8月7日 納涼まつり】

比布町80周年記念として、初めて歩行者天国が試みられた。



【平成3年8月7日 第1回七夕天国】

第1回から続いた行政区対抗縄跳び競技は、平成19年に「農産物でGO」にリニューアルされた。



【令和4年8月7日 第30回記念七夕天国】

令和元年の第29回以降、新型コロナウイルス感染症により2年連続で中止を余儀なくされたため、3年越しの開催が喜ばれた。

比布町ふるさと通信「ぴび」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。